

子ども・若者育成支援推進事業について

県民生活課

1 事業の目的

「あきた子ども・若者プラン」に基づき、子どもや若者を取り巻く問題への意識を高めるとともに、ニートやひきこもりといった社会的自立に困難を抱える若者に対する支援を行うことなどにより、次代を担う子ども・若者の健やかな育成を図る。

2 事業の概要

(1) 平成25年度青少年健全育成秋田県大会 190千円

青少年育成団体や教育関係者等が参加する大会を引き続き開催し、多くの県民が子ども・若者を取り巻く問題に関心を持ち、行動を起こす契機とする。

○開催場所：秋田市 ○開催時期：9月 ○参加人数：約300人

(2) 青少年育成秋田県民会議支援事業 400千円

(公社) 青少年秋田県民会議が行う事業について助成を継続し、子ども・若者の健全な育成を図る。

(3) 若者の自立サポート事業 8,887千円

若者の社会的自立を促進するため、ボランティアを活用した相談から「サポートステーション」による就業まで一貫して支援する。

○若者の自立支援ネットワーク会議

雇用・教育・福祉等の関係機関やNPO等とのネットワークを構築

○若者の自立支援セミナー

社会的自立に困難を抱える若者に対する県民理解の促進

○若者自立サポーター育成事業

訪問支援を行うボランティアを「若者自立サポーター」として養成

○若者自立サポーター派遣事業 (NPOへ委託)

若者等からの相談に応じ、若者自立サポーターを各家庭へ派遣

『雇用労働政策課から移管される事業』(NPOへ委託)

○地域若者サポートステーション設置事業 (3,976千円)

職業体験などの就業に向けた基礎的なトレーニングを実施

○サポートステーション・サポート事業 (4,172千円)

緊急雇用基金を活用し、IT知識等のビジネススキルの取得など、就業に向けた実践的なトレーニングを実施

3 予算額

9,477千円

上記のうちサポートステーション・サポート事業は、緊急雇用創出等臨時対策基金及び地域活性化対策基金を活用

(別紙)

NPO等との連携を図りながら、若者の社会的自立を促進！

☆若者支援に関する基本的な施策

- 若者自立サポーター育成事業 『訪問支援を行うボランティアを「若者自立サポーター」として養成』
- 若者の自立支援ネットワーク会議 『雇用・教育・福祉等の関係機関やNPO等とのネットワークを構築』
- 若者の自立支援セミナー 『社会的自立に困難を抱える若者に対する県民理解の促進』

ホップ (ステージ1)
人との繋がり

ステップ (ステージ2)
他者との交流

ジャンプ (ステージ3)
スキルアップ

就業
(進学)

若者自立サポーター派遣事業
(相談受付、信頼関係の構築：県)

・NPO等の若者支援団体
・精神保健福祉センター等
(交流する場の提供：NPO等)

・地域若者サポートステーション設置事業
・サポートステーション・サポート事業
(就業等に関する支援：県)

若者自立サポーター派遣事業 『相談から就業まで一貫して支援』 (ステージ1～3)

☆就業等に結びつける施策 (ステージ3)

- 地域若者サポートステーション設置事業 『職業体験などの就業に向けた基礎的なトレーニングを実施』
- サポートステーション・サポート事業 『IT知識等のビジネススキルの取得など、就業に向けた実践的なトレーニングを実施』